

氏名	石崎 浩	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	社会保障法、社会保障論				
学位	博士（法学）				
学歴	早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、中央大学大学院法学研究科修士課程・博士課程修了				
経歴	1986年4月読売新聞社に記者職で入社、編集委員を経て2024年4月から現職				
所属学会（役職）	日本社会保障法学会、日本社会福祉学会、日本年金学会、日本労働法学会、本マス・コミュニケーション学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	社会保障論Ⅰ	○	学部後期15コマ	懇切丁寧な講義資料を作成、毎回の授業で小レポートを課しコメントを返した		
2	社会保障論Ⅱ	○	学部後期15コマ	同上		
3	権利擁護を支える法制度	○	学部前期15コマ	同上		
4	社会保障概論	○	学部前期15コマ	同上		
5	社会保障政策論	○	修士前期15コマ	懇切丁寧な講義資料を作成、院生との討論に多くの時間を使った		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	社会福祉専門演習Ⅰ	○	前期15コマ	学生の発表内容を事前に把握して教員が十分に予習し、充実した討論内容となるよう務めた		
2	社会福祉専門演習Ⅱ	○	後期15コマ	同上		
3	社会福祉専門演習Ⅲ	○	前期15コマ	卒業論文の完成に向け対面・ZOOMの個別指導を重点的に行った		
4	社会福祉専門演習Ⅳ	○	後期15コマ	同上		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	IPW実習		4日間	加須市の中田病院で実習指導を行い、充実した成果発表に結び付けた		

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2026.3	主指導 3名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市社会福祉協議会	成年後見センター運営委員会委員		2025.4～2026.3
2	埼玉県社会福祉士会	権利擁護センター業務査察委員会委員		2025.4～2026.3
3	慶應義塾大学経済学部	訪問教授		2025.4～2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会		2025.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント等防止対策委員会		2025.4～2026.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	学科の過半数代表候補者		2025.4～2026.3
4	大学広報活動	オープンキャンパスで来訪者の相談に対応		2025.8.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			